

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



— — — —

基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
6	快適で住みよいまちづくり				612
政策		その他の特色			コストの方向性
1	都市機能の充実				コスト増大
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
2	快適な公園の整備	ソフト	継続		

【事業の内容】

事業名	大規模盛土擁壁補修設計事業				担当部課	建設都市部	都市施設課		
事業目的	阪神淡路大震災や東日本大震災等において、大規模な盛土造成地の滑動崩落による被害が発生しているが、美咲が丘緑地も大規模盛土造成地に該当するため、擁壁点検を実施し、適正に管理する。				事業主体	糸島市			
					実施方法	全面委託			
事業内容	擁壁点検 補修設計				進捗状況・現状	平成10年に荻浦土地区画整理事業により設置された美咲が丘緑地の南側は、盛土部にコンクリート擁壁工事として施工されており、建築後、20年以上が経過している。			
事業期間	令和4年度				会計種類	一般会計			
総事業費	3,834	千円	(うち市予算化分)	3,834	千円	予算科目	款	項	目
	2,931	千円	2,931	千円	8		4	2	
昨年度の実施計画に計上した総事業費	2,931	千円	2,931	千円					

【担当課による評価】

◆活動指標

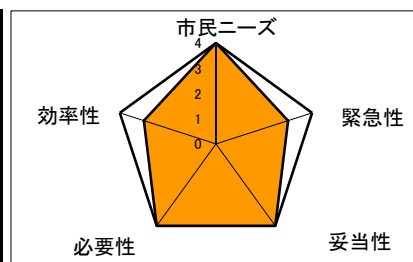
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
点検を実施した箇所数	0件	1件	1件

◆成果指標

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
市民1人当たりの公園面積	5.19㎡	5.11㎡	5.80㎡
公園が快適で利用しやすく整備されていると思う市民の割合(市民満足度調査)	22.1%	25.0%	32%

◆事業の必要性など

事業の必要性	①非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	①行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	②費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	②今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	①非常に高い



【事業費】

大規模盛土擁壁補修設計事業

※二段書きのうち()は市の予算を通らない事業費、【】は繰越費、斜体はランニングコストを表す。

(単位:千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源 (a)	3,834			3,834	
事業費 (A)		3,834			3,834	
主な事業費内訳		委託料				
従事職員数(人)		0.2			平均人件費	8,700
人件費 (B)		1,740			人件費割合 (%)	31.2
総コスト (A+B)		5,574			総コスト計	5,574
実地方負担	交付税措置額				-	
	一般財源充当額 (b)					
	(a+b)					
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金						
県支出金						
地方債		(充当率 %)				
その他						

年 度	積算基礎	合計
令和4年度	委託料3,834,000円	3,834 千円
令和5年度		千円
令和6年度		千円

担当部長による 総合評価	建築後23年が経過しており、損傷した場合は隣接する河川や宅地に影響を及ぼすため、早急の実施する必要がある。
-----------------	-------------------------------------------------------

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
6	快適で住みよいまちづくり				632
政策		その他の特色			コストの方向性
3	道路などの整備				コスト増大
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
2	道路などの安全対策とバリアフリー化	ハード	継続	○	

【事業の内容】

事業名	加布里停車場線歩道設置事業				担当部課	建設都市部	建設課	
事業目的	当該箇所は、加布里小学校の通学路や加布里駅への通勤経路であるが、車両の交通量が多い中、歩道が整備されていないため、歩行者の利便性及び安全性を図る。				事業主体	糸島市		
					実施方法	直営		
事業内容	歩道設置 ・延長L=250m(補助費200m+単独費50m) ・幅員W=3.5m ・用地買収面積A=566㎡(補助費416㎡+単独費150㎡)				進捗状況・現状	この路線は、街路事業での道路改良事業として進めていたが、国道取付部の変更が生じ、認可の変更や高額な用地買収が発生するため、事業が中断している状況の中、地元より通学路や通勤経路としての整備が強く要望されている。		
事業期間	令和元年度～令和5年度				会計種類	一般会計		
総事業費	281,211	千円	(うち市予算化分)	281,211	予算科目	款	項	目
						8	2	4
昨年度の実施計画に計上した総事業費	217,122	千円	217,122	千円				

【担当課による評価】

◆活動指標

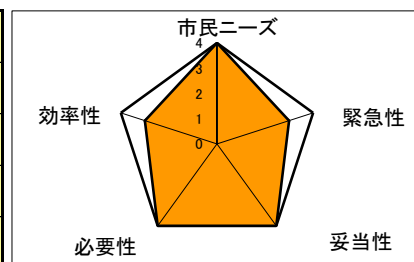
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
歩道設置延長	0m	0m	250m

◆成果指標

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
交通安全施設がじゅうぶんに整備されていると思う市民の割合(市民満足度調査)	26.3%	32.0%	35%

◆事業の必要性など

事業の必要性	①非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	①行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	②費用はかかるが、それ以上の効果が期待できる。
緊急性	②今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	①非常に高い



【事業費】

加布里停車場線歩道設置事業

※二段書きのうち()は市の予算を通らない事業費、【】は繰越費、斜体はランニングコストを表す。

(単位:千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
財源内訳	国庫支出金	52,668	24,750		77,418	
	県支出金					
	地方債	38,700	18,200		56,900	
	その他					
	一般財源 (a)	7,750	3,250		11,000	
事業費 (A)		99,118	46,200		145,318	
主な事業費内訳		工事費、補償費、用地費	工事費			
従事職員数(人)		0.3	0.3		平均人件費	8,700
人件費 (B)		2,610	2,610		人件費割合 (%)	3.5
総コスト (A+B)		101,728	48,810		総コスト計	150,538
実質地方負担	交付税措置額	8,591	4,040		-	
	一般財源充当額 (b)	30,109	14,160		44,269	
	(a+b)	37,859	17,410		55,269	
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	社会資本整備総合交付金交付要綱			55%	
県支出金						
地方債	公共事業等債	地方債同意等基準運用要綱 (充当率90%)			22.2%	
その他						

年 度	積算基礎	合計
令和4年度	用地費 14,279千円 補償費 48,546千円 工事費 36,093千円 事務費200千円	99,118 千円
令和5年度	工事費 46,000千円 事務費200千円	46,200 千円
令和6年度		千円

担当部長による 総合評価	都市計画道路としての位置づけがある中、部分的に歩道がなく、通学路や通勤経路としての安全性が確保されていないため、早急に歩道設置の対策が必要である。
-----------------	---------------------------------------------------------------------------

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



— — — —

基本目標		重点課題プロジェクト			施策コード
6	快適で住みよいまちづくり				632
政策		その他の特色			コストの方向性
3	道路などの整備				コスト増大
施策		事業種	継・新	公共施設等総合管理計画	骨格・肉付け
2	道路などの安全対策とバリアフリー化	ハード	継続		

【事業の内容】

事業名	福岡県サイクルツーリズム走行環境整備事業				担当部課	建設都市部	建設課	
事業目的	ナショナルサイクルルートへの指定を目指している福岡・糸島ルートを整備することで、自転車利用者の安全を確保し、サイクルツーリズムを推進する。				事業主体	糸島市		
事業内容	福岡・糸島ルートの路面標示及び案内板設置 L=4,000m				実施方法	直営		
事業期間	令和4年度				進捗状況・現状	糸島市が整備する福岡・糸島ルートについて、令和3年度に整備ルートが決定し、令和4年度に整備する。		
総事業費	17,501	千円	(うち市予算化分) 17,501	千円	会計種類	一般会計		
昨年度の実施計画に計上した総事業費	15,398	千円	15,398	千円	予算科目	8	2	4

【担当課による評価】

◆活動指標

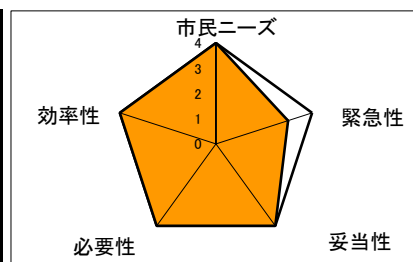
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
福岡・糸島ルートの整備延長(m)	0m	4,000m	4,000m

◆成果指標

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
交通安全施設がじゅうぶんに整備されていると思う市民の割合(市民満足度調査)	26.3%	32.0%	35%
自転車通行空間の整備	0km	29km	60km

◆事業の必要性など

事業の必要性	①非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	①行政にしかできない事業である。
事業の効率性(費用対効果)	①わずかな費用で、大きな効果が期待できる。
緊急性	②今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	①非常に高い



【事業費】

福岡県サイクルツーリズム走行環境整備事業

※二段書きのうち()は市の予算を通らない事業費、【】は繰越費、斜体はランニングコストを表す。

(単位:千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	17,301				17,301
	地方債					
	その他					
	一般財源 (a)	200				200
事業費 (A)		17,501				17,501
主な事業費内訳		工事費				
従事職員数(人)		0.2			平均人件費	8,700
人件費 (B)		1,740			人件費割合 (%)	9.0
総コスト (A+B)		19,241			総コスト計	19,241
実質地方負担	交付税措置額					-
	一般財源充当額 (b)					
	(a+b)					
財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等			補助率等 (地方債は交付税措置率)	
国庫支出金						
県支出金	福岡県サイクルツーリズム走行環境整備事業補助金				100%	
地方債		(充当率 %)				
その他						

年 度	積算基礎	合計
令和4年度	【補助】福岡・糸島ルートの路面標示(矢羽根等)及び案内板設置 L=4,000m 7,000千円 【補助】福岡・糸島ルートの舗装打ち換え L=1,000m 10,301千円 【単独】福岡・糸島ルートの舗装打ち換え(継ぎ足し) L=1,000m 200千円	17,501 千円
令和5年度		千円
令和6年度		千円

担当部長による 総合評価	福岡・糸島ルートの整備は、市民の安全確保や事故防止のために必要な事業である。また、福岡県がナショナルサイクルルートへの指定を目指しており、新たな観光価値の創造に寄与する事業である。
-----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------